

平成4年度から はり・きゅう・マツサージ治療に助成

防犯対策

問 最近、栗山地区を中心に、外国人労働者が増えている。これに関連した防犯上の諸問題も発生している。①住民の防犯対策と②下校中の生徒などの安全対策は。

答 町と警察署、防犯指導員が連携を密にし、防犯パトロールを強化していく。下校途中の児童・生徒の安全対策については、各学校単位で防犯指導や集団下校などの対策を講じていく。また、道路照明を増設し、夜間における犯罪の未然防止に努めたい。

道路照明の現状

問 ①道路照明灯破損の実態と補修計画は。②当初予算からみた設置状況は。

答 ①破損の実態調査を行ったことはない。故障については、通報に基づいて修理を行っているのが実状。町管理の照明灯で通報をいただければ

修理するので、住民の方々の協力をお願いしたい。

②予算額からみた設置率は62・9%であるが、設置が遅れているので、早急に対処する。

大総新道の延伸計画

問 ①大総新道の延伸計画とその見通しはどうか。②町内にあるJR踏切は凹凸がひどく通行に支障があるのを改善して欲しい。また、本町交差点に右折車線を設けて欲しい。

答 ①上町地区の交通渋滞の



夜でも安心して歩ける道を...



耕地の集団化で効率のよい農業

緩和策としての大総新道の延伸（正式には、県道横芝下総線のバイパス）計画は、県の事業として行っているもの。今年度は航空写真図化と予備設計を、また、来年度は測量、地質調査そして細かな設計に入ることになっている。地権者の協力を仰ぎながら、早期完成を図りたい。

②踏切はJR東日本が管理しているため、危険防止のため、JRに要請する。本町交差点の右折車線については、県に要請済みであるが、用地確保

の点で暗礁に乗り上げている。現在その打開策を模索しているところ。

農業の将来構想

問 農林水産省は最近、新農業・農村政策を打ち出したが、これを受けて、横芝町の農業施策をどう展開していくか。

答 昔から、日本人の主食は「米」と言われてきたが、今は食生活の変化により、「米」だけではないように思える。こうした消費者のニーズの変化を的確に見極め、即応できる農業施策に取り組みねばならない。そのためには効率のよい農業を目指し、耕地を集団化し、大型化・協業化ができるような条件づくりをすすめたい。

高齢者福祉対策

問 長い間社会の発展に貢献されたお年寄りの福祉のため、①白内障の治療として効果のある眼内レンズに、早期補助

を。また、②はり・きゅう・マツサージ治療への助成を実施して欲しい。③高齢化社会に向けて、いままでにないような実川町政独自の福祉対策は。

答 ①眼内レンズによる治療助成は、郡内の福祉担当課長レベルで検討中である。助成を全く考えないわけではない。時間的な猶予をいただきたい。②はり・きゅう・マツサージ治療への助成は、事務当局に検討させている。他町村とのバランスを考え、来年度から実施できるようにしたい。③今年度65歳以上のお年寄りを対象として、福祉・医療に関するアンケート調査を行うことにしている。この結果をみて今後の福祉事業計画を作成し、実践することとする。

横芝中の移転

問 中学校教育は、次代を担う子どもたちにとって重要な役割をもっている。しかし、現在の横中は校舎も古いうえ、